スマートけいはんなプロジェクト

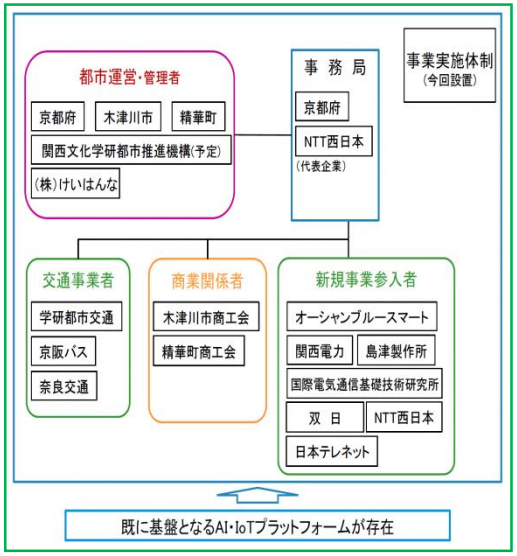
【地方公共団体：京都府　民間事業者等代表：西日本電信電話株式会社】※

国土交通省 スマートシティモデル事業
先行モデルプロジェクト
※：公募時点では仮称

○　文化、学術、研究の中心都市として企業立地等が進むが、敷地規模が大きいことから相互の円滑な移動の障壁があり、企業間の交流活動等に影響。また、都市建設後30年余が経過し、高齢化する地域社会への対応が課題。
○　多様な移動手段を導入しシームレスな移動環境を整備するとともに、新たな産業の創出・創発、多文化・多世代の共生コミュニティなど世界に先駆け、科学技術と生活・文化が融合した未来の暮らしのモデルの構築を図る 。

◆対象区域

◆事業実施体制



◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

施設間の多様な移動手段の確保

・街区間を移動するグリーンスローモビリティを導入し、ラストワンマイルの交通を確保。デマンドでの呼び 出し等により利便性向上、効率化（ラストワンマイルオンデマンドモビリティの導入）
・カーシェア、シェアサイクル等の整備

高齢者の生活支援

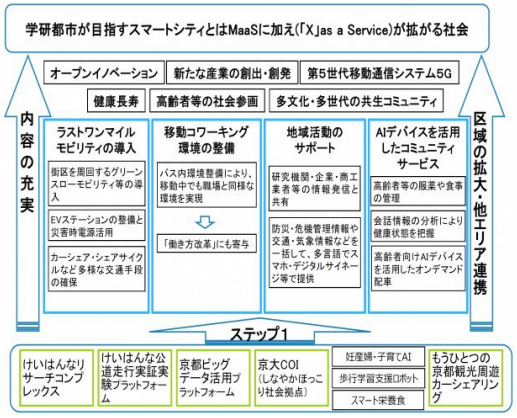
・AIデバイス（マイク、スピーカー）を高齢者住宅に整備し、日常の話し相手、健康相談、薬の服用や食事管理を支援
・音声によりラストワンマイルモビリティの手配を実施

統合プラットフォームの整備

・既存の京都ビックデータプラットフォームとの接続やオープンデータ、交通事業者等からの取得データ等により統合プラットフォームを構築

コワーキング環境の整備

・京都駅と精華・西木津地区間の中距離直通バス の車内にてコワーキング環境の整備
・企業からの認証を受けて「移動中の業務＝勤務」とし、働き方改革の取組を推進
・通勤者、出張者等の移動をマイカーから公共交通機関に転換



◆2019年度の主な取組

・シェアサイクル、グリーンスローモビリティの実証実験
・高齢者向けAIデバイス（見守り、健康相談等）による地域での実用検証